

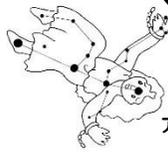
月刊 星空の散歩道 10月号

2024年

10月上旬 21時ごろ
10月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ

北

10月 月や惑星・星座を
探してみよう!



10月の星空

☆夜空の主な星座と明るい星☆

夏の星座は西と天頂、秋の星座は南と天頂、冬の星座は東の空に見えています。

- < 西 > こと座 (ベガ)、わし座 (アルタイル)
- < 天頂 > はくちょう座 (デネブ)、ペガス座、アンドロメダ座
- < 南 > みなみのうお座 (フォーマルハウト)
- < 東 > ぎょしゃ座 (カペラ)
- < 北 > 北極星、カシオペヤ座

☆天文トピック☆

- 10月14日 月が土星に接近
月のすぐ近くに土星が見えます。時間とともに月と土星の距離は近づいていきます。
- 10月15日 後の月
旧暦9月13日の月。「中秋の名月」と共に月を眺める風習があります。
- 10月21日 月と木星が並ぶ
月と木星が並んで見えます。午後9時~10時頃、東の空からふたつの天体が昇ってくる様子を観察してみましょう。

☆月の形の変化☆

- 10月 3日 新月
- 10月 11日 上弦
- 10月 17日 満月
- 10月 24日 下弦

☆10月の惑星☆

- 金星…日没後、西の空低く
- 土星…日没後、南東の空
- 木星…明け方、南の空
- 火星…明け方、南の空

<天文コラム> ずばる望遠鏡 ~なぜ、ハワイにあるの?~

望遠鏡の発明から約400年、現代では様々な望遠鏡が世界中で活躍しています。日本の国立天文台が保有する最大の光学式望遠鏡は口径8.2 mのずばる望遠鏡ですが、これは国内ではなく、ハワイ島マウナケア山の山頂域に設置されています。ここが選ばれた理由は、天体観測を行う上で理想的な条件を備えていたからです。富士山より高い標高約4,200 mのマウナケア山頂は、視界を遮る水蒸気や大気の乱れが少なく、非常にクリアな観測が可能です。空気は乾燥していて天候が安定しています。また、山頂付近は人工の光害がほとんどなく、夜空の暗さが保たれています。さらに、ハワイは北緯20度あたりに位置し、北半球と南半球の両方の天体を観測できる地理的な優位性もあります。地球上で天体観測に最も適した場所の一つであるため、ずばる望遠鏡を含む多くの天文台がマウナケア山に設置されています。

ずばる望遠鏡は1999年1月の初観測から25周年を迎えました。現在まで、銀河の観測、星や惑星の誕生の現場の観測、太陽系の果てにある暗い天体の観測、さらには暗黒物質や暗黒エネルギーの正体を探るための観測など、成果を上げ続けています。

